



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年10月30日

上場会社名 山九株式会社

上場取引所 東 福

コード番号 9065 URL <https://www.sankyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 公大

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 酒井 宏道

四半期報告書提出予定日 2020年11月16日

配当支払開始予定日

TEL 03-3536-3939

2020年12月7日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	269,550	△5.4	17,464	△9.0	17,959	△6.5	11,022	△13.4
2020年3月期第2四半期	284,865	△0.4	19,189	△2.2	19,211	△2.0	12,729	△4.0

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 10,204百万円 (△8.6%) 2020年3月期第2四半期 11,159百万円 (△8.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	182.19	—
2020年3月期第2四半期	210.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	415,292	220,725	52.7
2020年3月期	434,052	214,204	48.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 218,701百万円 2020年3月期 211,367百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	55.00	—	50.00	105.00
2021年3月期	—	50.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※期末配当につきましては、本日(2020年10月30日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	526,600	△7.5	30,000	△25.7	30,000	△25.2	20,000	△21.9	330.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2021年3月期2Q	65,215,606 株	2020年3月期	65,215,606 株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	4,714,041 株	2020年3月期	4,713,443 株
------------	-------------	----------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期2Q	60,501,935 株	2020年3月期2Q	60,503,936 株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

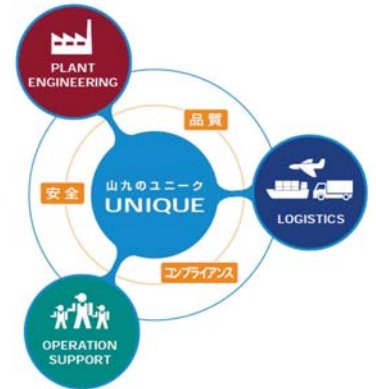
上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、詳細につきましては、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」および、本日(2020年10月30日)公表いたしました「2021年3月期通期業績予想および配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(セグメント情報等)	10

「山九のユニーク」マーク



1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナ渦中から世界に先駆けて経済活動を再開した中国では景気回復の兆しはあるものの、民需改善テンポは緩慢で、インフラ投資主導の回復といった様相になりました。米国では回復を牽引しつつあった自動車産業が、足下で減速に転じており、新型コロナウイルスの感染拡大ペース再加速もあって厳しい状況で推移しました。国内経済も緊急事態宣言の解除後は、外出自粛の緩和などを背景に景気持ち直しに向けた動きがあるものの、輸出の取り扱いはまだ低調で、インバウンド需要もほぼゼロが持続しており、景気回復の不透明感から企業の設備投資は減退して推移しました。

このような経済情勢の下、当社連結グループは、持続的発展のための健全な企業体質の強化を図り、人財の確保と育成を積極的に進め、グループの強みである動員力の維持・向上を図るとともに、お客様の動向・社会環境の変化に柔軟に対応できる体制の構築に取り組んでおります。

当第2四半期連結累計期間における売上高は2,695億50百万円と前年同四半期比5.4%の減収、利益面においては、営業利益が174億64百万円と9.0%、経常利益は179億59百万円と6.5%、親会社株主に帰属する四半期純利益は110億22百万円と13.4%のそれぞれ減益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 物流事業

港湾事業では、新規航路獲得によるコンテナ取扱量増加やバイオ燃料の揚陸作業獲得等があるものの、輸出取扱の落ち込みによる影響に加え、保管・梱包・海上輸送・船舶代理店等の作業減少により減収となりました。国際物流では、海外のプロジェクト関連輸送の増加があるものの、コロナ禍の影響による国内外での輸出入取扱減少に加え、中東における化成品輸出作業の大幅な減少も重なり減益に転じました。一般輸送・3PL事業では、国内での配送効率向上によるコスト削減や中国における倉庫・輸配送作業の回復等は見られるものの、国内の事務所移転作業やコロナ禍の影響による製品・原材料輸送作業の減少等により減収減益となりました。構内作業では、国内外の主要なお客様がコロナ禍の影響により操業度を大幅に落としており、これに伴う生産・出荷量の大幅な減少で減収減益となり、物流事業全体も減収減益となりました。

売上高は1,311億84百万円と前年同四半期比8.7%の減収、セグメント利益（営業利益）は39億30百万円と前年同四半期比28.1%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は48.7%であります。

② 機工事業

設備工事では、構内での設備更新・撤去・据付工事の案件等はあるものの、前期から継続していた大型環境関連工事や国内外でのプラント建設工事が完工したことに加え、工事の中断または工期を第4四半期以降に延期される案件が多発したことから、減収減益となりました。

保全作業では、国内のお客様の予算見直しに伴う工事量の減少や第2四半期以降の東南アジア・中東でのSDM（大型定期修理工事）等の減少はあるものの、今年度は国内のSDMがメジャー年であり、石油・石化構内の春期SDM等が順調に推移したことにより増収増益となりましたが、機工事業全体では設備工事の影響が大きく、減収減益となりました。

売上高は1,256億28百万円と前年同四半期比1.6%の減収、セグメント利益（営業利益）は125億5百万円と前年同四半期比1.7%の減益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は46.6%であります。

③ その他

道路やその付帯設備の補修工事における収益性悪化や構内建屋等の建築工事減少があったものの、SDMメジャーに伴う機材賃貸等の採算性向上があり、利益は前年並みの結果となりました。

売上高は127億37百万円と前年同四半期比5.1%の減収、セグメント利益（営業利益）は8億89百万円と前年同四半期比0.4%の増益となりました。

なお、当第2四半期連結累計期間の売上高に占める割合は4.7%であります。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は2,022億22百万円であり、前連結会計年度末に比べ208億60百万円、9.4%減少しました。主な要因は、大型工事の債権回収が進んだことによる受取手形及び売掛金の減少等によるものです。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末における固定資産は2,130億70百万円であり、前連結会計年度末に比べ21億1百万円、1.0%増加しました。主な要因は、設備投資による有形固定資産および無形固定資産の増加と、時価回復による投資有価証券の増加等によるものです。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は1,216億6百万円であり、前連結会計年度末に比べ230億61百万円、15.9%減少しました。主な要因は、社債の償還と、作業量減少による支払手形及び買掛金の減少等によるものです。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末における固定負債は729億60百万円であり、前連結会計年度末に比べ22億18百万円、3.0%減少しました。主な要因は、長期借入金の減少等によるものです。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は2,207億25百万円であり、前連結会計年度末に比べ65億20百万円、3.0%増加しました。主な要因は、利益剰余金およびその他有価証券評価差額金の増加と為替換算調整勘定の減少との差等によるものです。

当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末を4.0ポイント上回る52.7%となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、世界的に広がる新型コロナウイルスの影響で適正かつ合理的な業績予想の判断が困難であったため未定としておりましたが、第2四半期までの収益の実態を精査し、足元の当社グループを取り巻く経済環境等を鑑みた上で、売上高5,266億円、営業利益300億円、経常利益300億円、親会社株主に帰属する当期純利益200億円と予想しております。

(通期 連結業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	-	-	-	-
今回発表予想(B)	526,600	30,000	30,000	20,000
増減額(B-A)	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-

(参考 通期 個別業績予想)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
前回発表予想(A)	-	-	-	-
今回発表予想(B)	383,700	20,900	23,300	17,400
増減額(B-A)	-	-	-	-
増減率(%)	-	-	-	-

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,763	35,957
受取手形及び売掛金	174,525	153,680
有価証券	1,312	1,284
未成作業支出金	2,715	1,335
その他のたな卸資産	1,896	1,908
その他	8,088	8,272
貸倒引当金	△220	△217
流動資産合計	223,082	202,222
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	57,638	56,524
土地	60,834	61,336
その他(純額)	39,097	40,913
有形固定資産合計	157,570	158,775
無形固定資産		
のれん	1,845	1,569
その他	6,552	7,361
無形固定資産合計	8,397	8,931
投資その他の資産		
投資有価証券	18,386	19,028
その他	27,483	27,195
貸倒引当金	△868	△860
投資その他の資産合計	45,001	45,363
固定資産合計	210,969	213,070
資産合計	434,052	415,292

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	77,319	72,918
短期借入金	7,857	7,941
1年内償還予定の社債	10,000	—
未払法人税等	6,095	6,895
未成作業受入金	2,363	1,927
賞与引当金	10,210	4,276
その他	30,822	27,647
流動負債合計	144,668	121,606
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	14,045	11,675
退職給付に係る負債	30,966	31,351
その他	20,167	19,933
固定負債合計	75,179	72,960
負債合計	219,847	194,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,619	28,619
資本剰余金	12,916	13,197
利益剰余金	179,378	187,376
自己株式	△8,769	△8,771
株主資本合計	212,145	220,422
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,250	4,618
繰延ヘッジ損益	△1	—
土地再評価差額金	△511	△511
為替換算調整勘定	△3,733	△6,033
退職給付に係る調整累計額	217	206
その他の包括利益累計額合計	△777	△1,720
非支配株主持分	2,836	2,023
純資産合計	214,204	220,725
負債純資産合計	434,052	415,292

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	284,865	269,550
売上原価	255,389	242,026
売上総利益	29,475	27,523
販売費及び一般管理費	10,285	10,059
営業利益	19,189	17,464
営業外収益		
受取利息	162	104
受取配当金	412	380
助成金収入	—	881
その他	462	631
営業外収益合計	1,037	1,997
営業外費用		
支払利息	348	311
為替差損	200	822
その他	466	368
営業外費用合計	1,015	1,502
経常利益	19,211	17,959
特別損失		
投資有価証券評価損	—	740
特別損失合計	—	740
税金等調整前四半期純利益	19,211	17,219
法人税等	6,337	5,997
四半期純利益	12,874	11,222
非支配株主に帰属する四半期純利益	145	199
親会社株主に帰属する四半期純利益	12,729	11,022

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	12,874	11,222
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,043	1,367
繰延ヘッジ損益	6	1
為替換算調整勘定	△694	△2,382
退職給付に係る調整額	15	△4
その他の包括利益合計	△1,714	△1,017
四半期包括利益	11,159	10,204
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	11,013	10,079
非支配株主に係る四半期包括利益	146	124

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	19,211	17,219
減価償却費	8,567	8,209
のれん償却額	335	275
賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,236	△5,933
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	144	251
受取利息及び受取配当金	△574	△484
支払利息	348	311
投資有価証券評価損益(△は益)	—	740
売上債権の増減額(△は増加)	△2,028	19,862
未成作業支出金の増減額(△は増加)	△418	1,374
仕入債務の増減額(△は減少)	△1,713	△4,076
未成作業受入金の増減額(△は減少)	1,061	△402
その他	△7,747	△1,311
小計	12,950	36,035
利息及び配当金の受取額	656	473
利息の支払額	△311	△314
法人税等の支払額	△8,858	△5,819
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,436	30,374
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,711	△7,312
無形固定資産の取得による支出	△1,030	△1,609
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△296	—
その他	△709	△520
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,747	△9,442
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	19,528	14,801
短期借入金の返済による支出	△21,276	△14,337
長期借入れによる収入	9,600	—
長期借入金の返済による支出	△3,336	△2,576
社債の償還による支出	—	△10,000
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△490
配当金の支払額	△3,324	△3,025
その他	△2,807	△3,160
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,616	△18,790
現金及び現金同等物に係る換算差額	△338	△993
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,264	1,148
現金及び現金同等物の期首残高	35,653	34,556
現金及び現金同等物の四半期末残高	31,388	35,704

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	143,734	127,712	271,446	13,418	284,865	—	284,865
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,732	2,177	4,909	4,978	9,888	△9,888	—
計	146,466	129,890	276,356	18,396	294,753	△9,888	284,865
セグメント利益	5,463	12,720	18,184	885	19,070	119	19,189

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額119百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	物流事業	機工事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	131,184	125,628	256,813	12,737	269,550	—	269,550
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2,023	1,740	3,764	4,857	8,622	△8,622	—
計	133,208	127,369	260,577	17,595	278,172	△8,622	269,550
セグメント利益	3,930	12,505	16,435	889	17,324	139	17,464

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報システム、人材派遣、機材賃貸、土木・建築工事等の関連サービスを実施しております。

2. セグメント利益の調整額139百万円は、未実現利益調整額であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

【関連情報】

地域ごとの情報

売上高

前第 2 四半期連結累計期間（自 2019年 4 月 1 日 至 2019年 9 月30日）

(単位:百万円)

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
242,409	38,971	3,485	284,865

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア

…… 東アジア（中国、香港、台湾、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、南アジア（インド）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域…… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域

当第 2 四半期連結累計期間（自 2020年 4 月 1 日 至 2020年 9 月30日）

(単位:百万円)

日本	アジア	北・南米その他の地域	合計
234,149	33,326	2,074	269,550

(注) 1. 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

2. 各区分に属する主な国又は地域

アジア

…… 東アジア（中国、香港、台湾、他）、東南アジア（シンガポール、インドネシア、マレーシア、タイ、他）、南アジア（インド）、中近東（サウジアラビア、他）

北・南米その他の地域…… 米国、ブラジル、欧州、その他の地域